

社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年12月26日 / Vol. 060



ご支援総額

2023年12月20日までの寄付総額

129,940,010 円

寄付金使用総額

3482471.22 zł (約1億447万円)

12/11(月)～12/24(日)の期間中の寄附金使用額

5949.84 zł (約20万8千円)

12月11日(月)～12月24日(日)の支援活動

食材支援 (毎週木曜日) ※祝日等で変動あり

一人あたり50złの予算を設け、1週間分の昼食用食材の購入を支援。

12月14日(木) 22家族が参加 合計 2959.59 zł (約10万4千円)

12月21日(木) 20家族が参加 合計 2712.02 zł (約9万5千円)



今後の支援活動

クラクフ市内にある、Zustricz財団（2013年から活動している、ウクライナ人支援団体）と協力し、2024年1月23日からポーランド語コースを開始する。

ポーランド語コースで使用する教材には、皆様からの支援と日本・ウクライナ・ポーランドの連帯を表すシールを貼付予定。

次号より、週次報告書の形態を変更し、月に一度（最終週火曜日）の配信とさせていただきます。

次号配信は2024年1月30日(火)を予定しております。

何卒宜しくお願い申し上げます。





現地の動向

ポーランドの新首相に選出されたドナルド・トゥスク氏は、12月12日の就任演説で西側諸国の政府のウクライナへの協力を結集すると共に、ワルシャワがNATOとの安定的な同盟関係を維持し、ヨーロッパのリーダーになることを誓った。

米国やEU諸国のウクライナ支援が揺らいでいる中、同氏は西側諸国に「ウクライナ支援に対する疲労感」の兆候が見られていることを批判し、ウクライナへの支援に対する西側諸国の必要性を強調した。

ウクライナへの支援を表明している同氏だが、彼の連立政権で農業省を担当するポーランド人民党（PSL）は、ウクライナの農産物輸入を拒否するだけでなく、禁止対象となるウクライナ製品のリストを拡大する意向を示している。

PiS（Prawo i Sprawiedliwość）前政権によって4月から導入されているこの禁止措置はウクライナの主要な輸出収入源である小麦やとうもろこしの輸出に支障をきたしており、ロシアの侵攻以来強固な同盟を築いてきたキーウとワルシャワの関係を損なっている。

ウクライナ側は、ここ数カ月間、両国間の関係が緊張している兆候が見られたことから、新政権が二国間関係の強化の後押しをしてくれることに期待をしている。



(出典/画像：<https://www.atlanticcouncil.org/blogs/ukrainealert/new-polish-pm-donald-tusk-vows-full-mobilization-of-west-to-help-ukraine/>)